

クローニング 設定反映マニュアル

本書は、指導者端末と学習者端末のクローニング手順、および指導者端末の設定を学習者端末に反映する手順についての説明書です。

クローニング設定反映マニュアル

PVCXC-M111-C

本書の内容は改良の為、予告無く変更する場合があります。

目次

概要	2
作業前の事前準備	2
作業時の注意事項	2
作業手順（指導者用）	3
作業手順（学習者用）	5
参考（サイレント実行）	7
参考（マスター／初期化項目）	7
■ 指導者端末／マスターデータ	7
■ 指導者端末／初期化項目	7
■ 学習者端末／初期化項目	7

概要

クローニング展開用のマスター端末で xSync Classroom の確認作業を行うと、アプリケーションの設定内に端末固有の設定や操作履歴などが残ります。クローニングする際はこれらの設定や履歴を削除する必要があります。

作業前の事前準備

作業の前に、以下のツール、アカウント、パスワードを準備します。

- クローニングサポートツール

以下の Web サイトから最新版のクローニングサポートツールを入手してください。

https://jp.vcube.com/support/xsync/supplier-download#classroom_top

補足

- クローニングサポートツールは、xSync Classroom インストールフォルダーにも格納されています。クローニングサポートツール (CloningTool.exe) は指導者端末/学習者端末で共用です。それぞれ適切な手順で、インストールフォルダー内のクローニングサポートツール、または Web サイトから入手した zip フォルダー内のバッチファイル (xSyncClassroom_クローニングサポート.bat) を実行してください。

- xSync Classroom 評価アカウント (作業用)

クローニング作業用の評価アカウントについては、弊社営業担当者、担当 SE にご確認ください。

- xSync Classroom (学習者用) メンテナンス用パスワード

メンテナンスモードのパスワードについては、弊社営業担当者、担当 SE にご確認ください。

補足

- 評価アカウントで、マスターイメージ端末の動作確認を行ってください。
- 学校ごとにマスターイメージ端末を作成する場合は、マスターイメージ端末にアカデミックライセンスを適用できます。

作業時の注意事項

注意

- マスターイメージ端末にシングルライセンスを適用しないでください。シングルライセンスは単一の PC しか認証されません。
- 複数の学校向けのマスターイメージ端末を作成する場合、マスターイメージ端末にアカデミックライセンスを適用しないでください。既に適用してしまった場合、ライセンス管理サーバーより、適用ライセンスの解除を行ってください。
- xSync Classroom の動作確認、設定作業を完了後、マスターイメージ端末の作成を行ってください。
- 本作業を実施後、xSync Classroom は実行しないでください。xSync Classroom を実行した場合、本作業を再度行ってください。

参照

xSync Classroom のライセンス管理については、以下の Web サイトを参照してください。

https://jp.vcube.com/support/xsync/supplier-download#classroom_top

作業手順（指導者用）

1. xSync Classroom をインストールします。
2. xSync Classroom の初回起動時、評価用アカウントを適用します。

補足 学校ごとにマスターイメージ端末を作成する場合は、マスターイメージ端末にアカデミックライセンスを適用できます。その場合は、製品版ライセンス側にライセンスキーを入力します。

3. ホーム→ [メニュー] → [設定] より、納品先向けに xSync Classroom の設定を行います。

補足 本設定はすべての Windows ログインユーザーの設定として反映されます。



4. 動作確認と設定の完了後、起動中の xSync Classroom を停止します。
5. バックグラウンドプロセスとして起動している xSync Manager を停止します。

名前	CPU	メモリ	ディスク	ネットワーク
xSync Manager (32 ビット)	0%	5.3 MB	0 MB/秒	0 Mbps
xSyncClientManager (32 ビット)	0%	0.8 MB	0 MB/秒	0 Mbps

6. クローニングサポートツールを実行します。

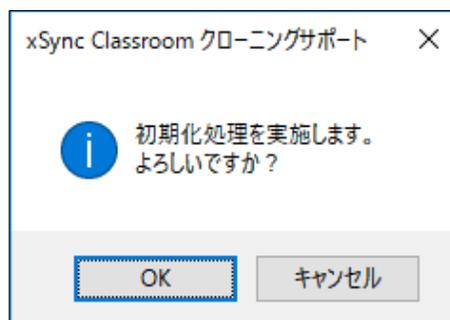
実行するファイルは以下のうちいずれかです。

- xSync Classroom のインストールフォルダーに格納されている CloningTool.exe
- Web サイトから入手した zip フォルダ内のバッチファイル

補足 xSync Classroom のインストールフォルダーは以下のとおりです。

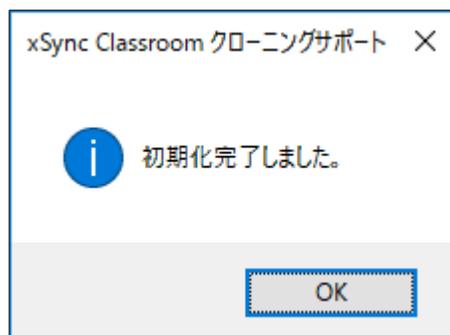
- 32 ビット OS :
C:¥Program Files¥PioneerVC¥xSync Classroom
- 64 ビット OS :
C:¥Program Files (x86)¥PioneerVC¥xSync Classroom

実行すると確認のダイアログが表示されます。



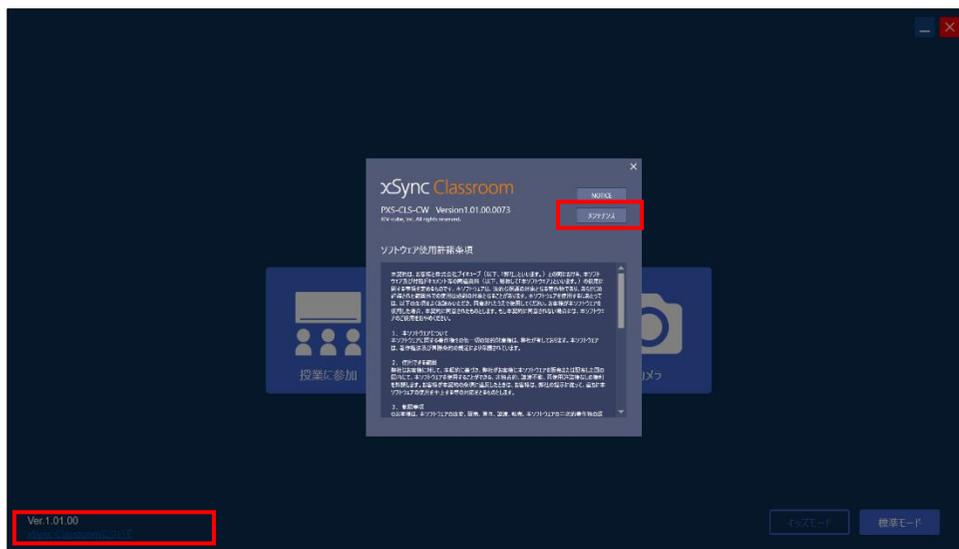
7. [OK] をタップします。

初期化完了後、完了のメッセージが表示されます。



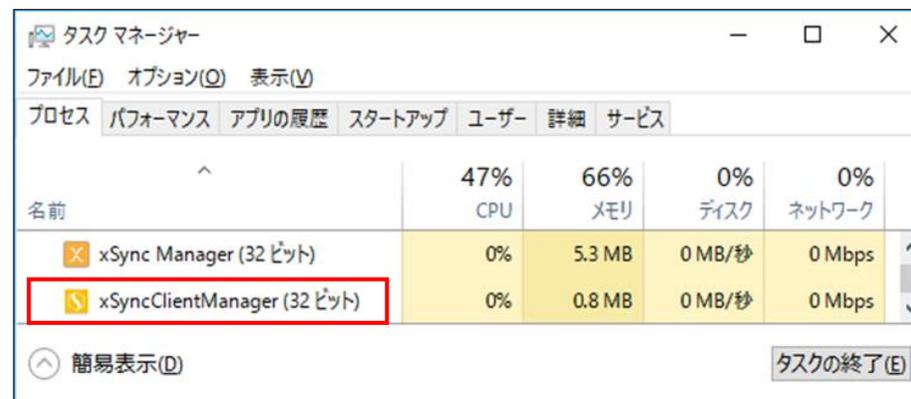
作業手順（学習者用）

1. xSync Classroom Client をインストールします。
2. トップ画面 [xSync Classroom について] → [メンテナンス] → パスワード → 設定画面より、納品先向けに xSync Classroom 学習者用の設定を行います。



3. 設定完了後、起動中の xSync Classroom Client を停止します。

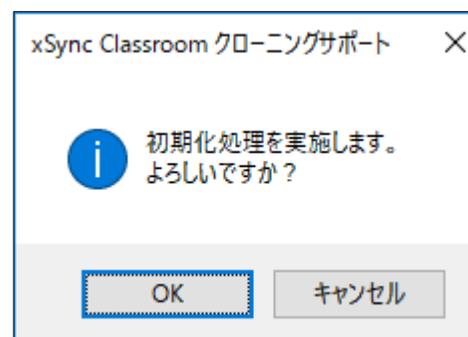
4. バックグラウンドプロセスとして起動している xSyncClientManager を停止します。



5. xSync Classroom Client インストールフォルダーに格納されている CloningTool.exe を実行します。

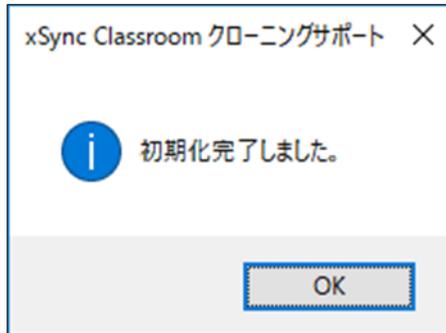
補足 • xSync Classroom Client インストールフォルダーは、「C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Client¥Bin」です。

実行すると確認のダイアログが表示されます。



6. [OK] をタップします。

初期化完了後、完了のメッセージが表示されます。



以上で作業は完了です。以降、xSync Classroom Client は起動しないでください。起動した場合、本作業を再度実施してください。

参考（サイレント実行）

起動パラメータ `-silent` をつけると、メッセージボックスが非表示となります（サイレント実行）。

参考（マスター／初期化項目）

xSync Classroom クローニングサポートツールで Windows ログインユーザー共用としてマスターとなる項目、初期化される項目は以下のとおりです。

■ 指導者端末／マスターデータ

指導者端末

マスターデータとなるファイル

C:¥Users¥<ユーザー>¥AppData¥Roaming¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥Settings

C:¥Users¥<ユーザー>¥AppData¥Roaming¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥ConnectList

C:¥Users¥<ユーザー>¥AppData¥Roaming¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥TabletLearnig

マスターデータ格納先

C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥Settings¥UsersMaster

■ 指導者端末／初期化項目

指導者端末

設定項目削除

C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥Settings¥CommonSetting.xml
<GuidOfUUID>
<GuidOfRandom>

ユーザー情報削除

C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥Log
C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host¥Operation Log
C:¥Users¥<ユーザー>¥AppData¥Roaming¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Host

ConnectList

ConnectList

Data Cache

Settings

TabletLearnig

ユーザーデータ情報削除（フォルダ削除）

C:¥Users¥<ユーザー>¥Documents¥xSync Classroom

■ 学習者端末／初期化項目

学習者端末

設定削除

C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Client¥Setting¥DeviceSetting.xml
<GUID_OF_UUID>
<GUID_OF_RANDOM>

フォルダー削除

C:¥ProgramData¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Client¥Log

C:¥Users¥<ユーザー>¥Documents¥xSync Classroom

C:¥Users¥<ユーザー>¥AppData¥Roaming¥PioneerVC¥xSync Classroom¥Client